

設備工事情報シート	衛生	I-P-7-改 ₄	制定	2004年4月1日
			改訂	2019年3月1日
施工要領	架橋ポリエチレン管 (先分岐工法)		積水化学工業編	

1. 目的・概要

住宅の給水および給湯配管に使用される樹脂管（架橋ポリエチレン管およびポリブデン管）の施工方法には、さや管ヘッダー工法および先分岐工法がある。その施工要領および使用部材はメーカーごとに異なるため、認識不足による不具合を防止するには、施工前に採用メーカーの接続方法を確認する必要がある。以下に、積水化学工業／架橋ポリエチレン管／先分岐工法の施工要領および施工のポイントを示す。

2. 施工手順

(1) 管の切断



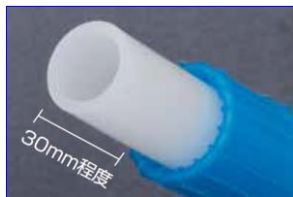
樹脂管カッターを用いて、架橋ポリエチレン管の管軸に対して直角に切断する

※先分岐工法には管外面に被覆を施したCV管を使用する

※管の切断面が斜め切りや段切りになっていないか確認する

※管端部分にゴミやバリ、ささくれ等が無いことを確認しある場合は除去する

(2) 管、継手の接続 <カチットS継手>



① CV管の被覆材を30mm程度めくる

※被覆材を十分にめくらずに継手に管を挿入した場合、被覆材が継手部挿入口に当たり、管が継手奥まで入らない

※面取りをしないこと



② 継手の挿入口にピンクのガイドがあること、ゴミ・異物等がないことを確認する。

※ピンクのガイドをパイプ挿入前に継手内部へ押し込まない



③ 管をまっすぐにピンクのガイドが見えるまで一気に挿入する

※満水状態や水圧がかかった状態での挿入は漏水の原因となる

※斜め挿入・回転挿入・こじ入れ・挿入途中で引き抜きはしない

※必ず奥まで一気に挿入する



④ ピンクのガイドが見えていることを確認する

※見えない場合は、挿入不足により漏水の原因となる

※斜めに見える場合も、斜め切りの影響で漏水の原因となる

※継手の再使用はできないので、交換してやり直し



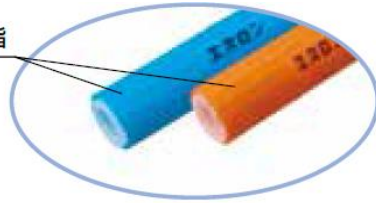
⑤ 継手近傍の被覆材をめくり戻し、管が露出しないように覆う

資 料

3. 積水化学工業 架橋ポリエチレン管 (抜粋)

- 被覆付き架橋ポリエチレン管 (エスロペックスCV)

エラストマー樹脂



No	部品名称	材質
1	内管	架橋ポリエチレン
2	被覆材	オレフィン系エラストマー樹脂

被覆色ブルー (給水用)

被覆色オレンジ (給湯用)

- カチットS継手 (抜粋)

<床出し調整ジョイント>



<ロング>

呼び径	床下空間高さ
13×Rc1/2 ストレート	240mm以上
13×Rc1/2 ロング ストレート	
13×Rc1/2 45°	130mm~240mm
13×Rc1/2 ロング 45°	
16×Rc1/2 ロング 45°	45mm~130mm
13×Rc1/2 90°	
13×Rc1/2 ロング 90°	

<座付き給水栓エルボ>



呼び径
10×Rp1/2
13×Rp1/2
16×Rp3/4

<エルボ>



呼び径
13
16
20

<チーズ>



呼び径
13
16
16×13
16×13×13
20×13
20×16

4. 架橋ポリエチレン管の使用温度と最高使用圧力 (JIS K 6769 PN15)

使用温度 (°C)	0~20	21~40	41~60	61~70	71~80	81~90	91~95
最高使用圧力 MPa (kgf/cm ²)	1.5 (15.3)	1.25 (12.7)	0.95 (9.7)	0.85 (8.7)	0.75 (7.7)	0.70 (7.2)	0.65 (6.6)

5. 水圧試験判定基準

初期水圧	60分後の水圧
0.74MPa (7.5kgf/cm ²)	0.44MPa以上 (4.5kgf/cm ² 以上)

6. 問い合わせ先

積水化学工業 (株) 環境ライフラインカンパニー

東北支店		中部支店		九州支店	
設備システム営業所	022(217)0608	設備システム営業所	052(307)6806	設備システム営業所	092(271)1314
東日本支店 建築営業部		西日本支店		積水化学北海道(株)	
東京設備システム営業所	03(5521)0641	近畿設備システム営業所	06(6365)4503	建築・ストック営業部	011(737)6330
関東設備システム営業所	048(646)0160	中国設備システム営業所	082(224)6251		
横浜営業所	045(311)9115	北陸営業所	076(231)4245		
静岡営業所	054(275)0720	京滋営業所	075(662)3418		
甲信営業所	0263(38)1220	四国営業所	087(821)2113		
東関東営業所	043(204)5070				

日建連

注: この情報シートは日建連の基準、規格ではありません